

ビル・ウィルソンより皆様へ ー新型コロナウイルスー



私は今、ニューヨークのメトロ本部にいます。ご存知のように、今やニューヨークなど多くの町がロックダウン中です。私は40年間、この町であらゆる出来事を経験してきました。しかし、今回はちょっと違います。戦いです。多くの人がその渦中にあり、あなたもご自身の問題を抱えているはずです。今、世界各地のメトロの活動状況をお伝えします。

メトロのプログラムは中断していません。ニューヨークだけでなく、世界各地でも活動は続いています。これまでのやり方を変える必要がありましたので、ご覧になって「以前と違う」と思われるかもしれません。しかし、私たちは確かにここにいます。

メトロ本部が拠点で、コールセンターも立ち上げました。子どもたちもその家族も、電話で相談することができ、困ったことがあれば、その時々ニーズに応じています。

何年も前、お会いしたロバート・シュラー師は苦難の渦中にありました。しかし彼は、私に言われたのです。「ビル、いいか。厳しい時代は、いつまでも続かない。だが、厳しさに

耐えられる人は生き残る」。その通りです。特別な人でなくていい、辛抱強くあれば、変化を生み出せる。辛抱強くあれば、戦い続けられる。我々は あなたの働き人です。皆さんの代表として、世界中で働いているのです。イエスの御名によって。

献金受付のページを、ぜひご覧ください。今の混乱が収束したら、私たちはすぐに動き出します。今のうちに準備しなければなりません。今準備しているのは新たな教会学校のトラックです。フィリピンのスタッフは、既に教会学校を運営している墓地とは別に、新たな墓地を見つけたのです。子どもたちが、遺骨に囲まれて暮らしています。必要がそこにもあるのです。

この先、ウィルス流行が収束した後も、扉は開き続ける。扉はまだ、私たちの前に開き続ける。私は信じています。

身体に気をつけて。お互いにいたわり合って、私たちのために祈ってください。私たちの準備が整い、必要な場所で待機できるように。すべてが終わり、ゴーサインと同時に動けるように。全力で開かれた扉に入っていくのです。イエスの御名によって。祝福を祈ります。

右のQRコードを読み取ると、ビル・ウィルソン師の活動報告の全メッセージをご覧いただけます。
動画の長さは7分38秒です。



活動報告

最新情報

コロナウィルスの影響下での活動の最新情報が、メトロ本部のホームページで随時更新されています。ご確認ください、ぜひ活動のためにお祈りください。

<https://www.metroworldchild.org/covid19/>

英語のページが表示されます。Google chrome の「日本語に翻訳」機能や、翻訳ソフトなどを使用すると、日本語で読むことができます。

メトロ本部の
ホームページ



献金受付中

この状況下においても子どもたちのために活動を続けるメトロのために、献金を受け付けております。

お振り込み先

ゆうちょ銀行 一六九店 当座預金 0041610

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン

スポンサーの方は、月々のスポンサー代と一緒に口座から献金を引き落とすことができます。日本事務所までご連絡ください。

献金
受付フォーム



サマーキャンプ!

アメリカ・フィリピンのお申込み締切りは5月25日です。

献金受付中!

現地では、メトロの活動が続けられています。
ぜひ献金でのご協力をお願いします!

今月号の目次

P2…キャンプ支援のご案内

**P3…本部からのお知らせとお願い
／今月のデボーション**

P4…日本事務所からのお知らせ

子どもたちの人生を変える体験 —それはあなたから始まります

世界中で「救いの夏」を子どもたちに

キャンプの意義

世界各地でメトロが支えている子どもたちがどれほどの貧困、暴力、犯罪の中で育っているか、想像すらつかない人がほとんどだと思います。多くの子どもたちが「自分を大事にしてくれる人な

どいない」という心の重荷を抱え、「自分の価値はゴミと大差ない」と思い込んでいる子もいます。あまりに多くの子どもたちが、単に生き抜くためだけにギリギリの選択を迫られています…子どもが決して選択すべきではない選択肢の中から。

子どものキャンプ費用を支援するということは、子どもたちを日頃の苦勞から数日間解放してあげる以上の意味があります。あなたは子どもたちに、有害な環境からの避難所を提供するとともに、キャンプという、安全でエキサイティングで愛が溢れる環境で過ごす機会を与えるのです。キャンプは、日曜学校以上に神の愛で子どもたちを満たすことができる場です。

メトロのキャンプにはカウンセラーがおり、24時間体制で子どもたちと共に過ごし、話を聞き、励まし、そして祈ります。子どもたちは、束の間とはいえ、笑ったり、ゲームをしたり、歌を歌ったり、新しい友だちを作ったりして、子どもらしい時間を満喫できます。礼拝ではみことばを聞き、その教えを自分の人生にどのように活かすか、また、祈りと讃美を通じて神の臨在にどのように触れるか、といったことを学びます。

そして、キャンプ支援のもっとも素晴らしいところは、キリストを受け入れて人生を永遠に変える決断を子どもたちにさせることができる、ということです！



アメリカ

ニューヨークでメトロが支援している子どもたちの多くは治安の悪い環境で暮らしています。その地域から出たこともありません。虐待を受けているケースも多く、ギャングやドラッグの世界や密売など

の犯罪に手を染める危険に常にさらされています。キャンプは、そういった危険とは無縁の世界です。神を身近に感じて健全な関係を築き、子どもらしい楽しい時間を過ごせます。つらい時にも、このキャンプの経験が子どもたちの心の支えとなります。



フィリピン

マニラで支援している子どもたちの多くは極貧状態にあり、中でも、ゴミ捨て場や墓地で暮らす子どもたちは、もっとも底辺の存在です。物心つく頃から生活費を稼ぐ生活が始まり、ごみを漁って食料や売

れるものを探すことで毎日が過ぎていきます。貧困のせいで、子どもとしての時間や将来の希望が奪われているのです。メトロの一日キャンプでの時間は、このような状況の子どもたちの人生に激的な変化をもたらします。



ケニア

ケニアのメトロでは毎週、約10万人の子どもたちを援助していますが、そのほとんどが空腹や親の養育放棄に苦しんでいます。授業中に空腹で倒れる子もいれば、食べ物を盗んで罰せられる子もいますし、

ゴミ捨て場で集めたくず鉄などの金属を売って食べ物を買おうと学校をさぼる子もいます。生き抜くことが最優先課題なのです。メトロの一日キャンプでは、神についての知識を深めるとともに子どもらしい一日を楽しめるようにします。栄養のある食事を朝・昼・夕と食べられるのは、次の食事がどうなるかわからない状態で暮らしている子どもたちにとって、めったに味わえない贅沢です。



キャンプ支援 &
支援献金受付中！

←こちらから
お申し込みができます

締め切り：5月25日

ニューヨーク

33,000 円／4泊5日のキャンプ
3,000 円／キャンプお泊まりセット

フィリピン・ケニア

10,200 円／日帰りキャンプ

お知らせ

メトロのサマーキャンプは今のところ、**予定通り準備中**です。スタッフはカリキュラムを作成し、細かな実施計画やゲーム、キャンプ用具などを用意しています。何か変更があれば、随時お知らせします。

このような状況下でも、いつものように思いやり溢れるご支援をいただけると大変ありがたいです。子どもたちに神の愛を伝え続け、物質面で必要を満たすのに非常に役立ちます。しばらく続くと思われるこの特別な事態における必要のためにご協力ください。

新型コロナウイルスの対策状況は、各国で日々変化していますので、最新情報は、下記のサイトで確認いただけます。

<https://www.metroworldchild.org/covid19/>
内容は、随時更新されています。(英語ページ)



メトロ本部の
ホームページ



あなたの思いやりのお陰でメトロは、子どもたちに対して、神との個人的関係を築き、それによって人生が変わるような経験をする機会を与え続けることができます。

どうか今ご支援いただき、一人でも多くの子どもがキャンプに参加できるようご協力をお願いします。

2020年5月 今月のデポジション by ビル・ウィルソン

「危ない橋を渡ることもある そこが私の居場所だから」

ジョエル・アロンセンは心臓移植を必要としていましたが、手術費用もそれをまかなう保険もありませんでした。しかし、彼には友人がいました…綱渡りサーカス団「フライング・ワレンダ」の一員、スティープ・ワレンダです。

ワレンダはジョエルに「僕は君の命を救うためにここにいるんだ」と告げ、アリゾナ州スコッツデールのテーマパーク「ローハイド」の駐車場にワイヤーを張りました。そして、その高さ12メートルのワイヤーの上で「友人の手術費用を調達するため、僕はここで九四日間過ごします」と宣言したのです。

ワレンダは誰にも相談しませんでした。必要が迫っているのを知って、多少の危険を覚悟で大胆な行動に打って出たのです。誰にも告げず、相談もせず、計画も立てず。そこにあったのは、前例のない、人目を引く行動だけです。この、何かのために危険を冒すことを英語で「out on a limb」と表現します。「limb」とは木の太枝のことですから、その上で身を乗り出せば落下のリスクがあるというわけです。ワレンダが友人のためにしたことはまさにその言い回し通りで、これほど当てはまる例はありません。

しかし私たちは、リスクを伴う行動を恐れたり敬遠したりする人(特にクリスチャン)によく会おうのではないのでしょうか。早急な対応が必要な場合でも、少しでも危険を感じると尻込みしてしまい、そして言うのです。「大事なことだとは思いますが、教会の財政を大きく圧迫しかねません。やめておいた方がいいでしょう」。そういう人たちはなぜか、危険を冒すことが「キリスト教的」ではないと思っているのです。大間違いです！

有効かつ必要なリスクを取ることは、あなたや教会がなす最もキリスト教的な行為の一つです。というのも、キリストは伝道活動において、多くの実を結ぶことを私たちに求めておられるからです。木が実をつけるのは太枝からさらに先の部分であって、木の幹や地面の近くではありません。安全な場所ではなく、幹から突き出て日光や風雨を受ける枝の先に実はなるのです。では、豊かな実りを求めるあなたはどこにいればよいですか。同じことです、太枝の先です！

木の太枝から身を伸ばしたあなたの居場所に、今、思いを馳せてみましょう。あなたが本当に価値あることを行える場所です。考えてみてください、イエスはあなたのためにどこで死なれましたか。イエスは、木の太枝の上で両手を伸ばして死なれたのではないのですか。

太枝の意味は、そこにあります。

「わたしはまことのぶどうの木であり、わたしの父は農夫です。
わたしの枝で実を結ばないものはみな、父がそれを取り除き、
実を結ぶものはみな、もっと多くの実を結ぶために、刈り込みをなさいます。」

—ヨハネの福音書 第15章1-2節—

心をこめて

創作者・主任牧師 ビル・ウィルソン



5月20日
WEB 限定記事更新！

日本事務所からの重要なお知らせとお願い

セミナー中止のお知らせ

6月27日から7月6日の期間で準備を進めていました「ビル・ウィルソンセミナー2020」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、残念ながら中止とさせていただきます。

共に祈って備えてくださっていたスポンサーの皆様には、お詫び申し上げます。

また、メトロの日本事務所のホームページにて、スポンサーのお申し込みを受け付けることができます。お知り合いで、スポンサーをご希望の方がいらっしゃいましたら、以下のQRコード、またはホームページからお申し込みください。



スポンサー申し込みページ→

献金受付中！

メトロでは、コロナウイルスの影響がある中でもなお、世界各地の拠点で活動が続いています。アメリカでは、従来のように大勢の子どもを集めて日曜学校を開催することはできなくなりましたが、オンラインでみことばを語ったり、電話で子どもたちに福音を伝えたりしています。各国のメトロの活動を支援するため、献金を募集しています。ぜひご協力をお願いいたします。

お振り込み先口座

ゆうちょ銀行 一六九店 当座預金 0041610
メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン

スポンサーの方は、月々のスポンサー代と一緒に献金を引き落とすこともできます。日本事務所までご連絡ください。

メールが届かない？

「日本事務所からの返信メールが届かない」というご連絡を度々いただきます。

いただいたメールには必ずご返信しておりますので、もし日本事務所からメールが届かない場合は、お手数ですが、メトロからの返信メールが、迷惑メールフォルダに自動で振り分けられていないかをご確認ください。

迷惑メールの受信設定をなさっている場合は、以下のアドレスを受信できるように設定してくださいませよう、お願いいたします。

日本事務所メールアドレス

metrojapan@mission.or.jp

日本事務所よりごあいさつ！

すべての方々が、新型コロナウイルスによる様々な影響を受けていると思いますが、お元気ですか？

どのような状況にも対処できる知恵と力が与えられているのがクリスチャンです。今こそクリスチャンの生き方を証し、福音を伝えるチャンスとして行動しましょう。

メトロ本部では、長年培ってきたノウハウと地域との関わりは、大きな力を発揮しています。特にニューヨーク本部では、様々な支援活動において現場でスタッフたちが大きな機動力を発揮しています。各国スタッフも、大きな制限の中でも、できる限りの活動を行い子どもたちの支援を続けています。皆様のお祈りに心から感謝します。

皆様も、復活の主の御力によりあらゆる禍から守られ、主からの豊かな祝福と恵みが注がれますようお祈り申し上げます。

日本事務所代表 万代栄嗣(まんだい えいじ)



メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座 4-5-1

教文館 6 階 TFC 内

電話 03-3561-0174

FAX 089-925-1501

メール metrojapan@mission.or.jp

URL https://metroworldchild.jp/



すべてのお振り込みは、同封の郵便振替用紙をご利用いただくか、下記宛にお願いいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610

郵便局：記号番号 01650-3-41610

口座名義はどちらも同じ

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン